

高等学校・湘北短期大学連携プログラム
— 湘北 カレッジ・パス・プログラム (Shohoku College Path Program—SCoPP) —

平成25年度 出張授業内容一覧



所 属	教員氏名	授業名	内容
情報メディア学科	小野目 如快	『EXCELプログラミング』	EXCELには定型業務を効率よく処理するために、VBAというプログラミング言語が用意されています。この講義では、VBAを用いて、簡単なプログラミングを体験します。 ※パソコン教室をご用意ください。
		『情報セキュリティ』	インターネットが発達した今日、情報セキュリティに関する知識を身につけておくことは、今や、社会生活をしていく上で必須のものとなりました。この講義では、身近な例をあげながら、スライドや動画を多用して、セキュリティの実態を紹介します。
	小棹 理子	『エコマテリアルー日本発の環境材料コンセプト』	環境にやさしい製品が増えています。リサイクルすればすべてエコだと思いがちですが、そうではない場合もあります。Webデータベースを用いて、環境配慮製品の考え方や事例を紹介します。
		『世界とつながろう』	FacebookやSkypeなど、グローバル社会の構築を加速するInternetツールが増えています。そのインパクトや使用事例を紹介します。
	小田井 圭	『目が色を感じるしくみ』	ヒトの目が色を感じる仕組みを分子レベルで解説します。 後半は「色」というものに焦点を当てていろいろなトピックスを紹介します。 ※パソコン教室をご用意ください。
	内海 太祐	『Scratch によるプログラミング』	MITが開発したプログラミング言語スクラッチを使います。 プログラミング経験は「まったく不要」です。図形を組み合わせてプログラムすることから対象年齢は8歳以上で誰でも使えますが、一方で奥深いプログラミング言語でもあります。 ※USBを使用できるパソコン教室をご用意ください。 ※受講者数は30名までとさせていただきます。
		『一歩先行くWEBサービスの使い方』	現在様々な無料のWEBサービスが溢れています。これらのサービスをうまく使うと勉強、仕事、趣味など様々な面で役立ちます。Googleのサービスを中心にTwitter、Evernote、Dropboxなどの紹介をします。また、これらのサービスを利用する上での注意点についても触れます。 ※パソコン教室をご用意ください。
		『情報セキュリティ』	インターネットが発達した今日、情報セキュリティに関する知識を身につけておくことは、今や、社会生活をしていく上で必須のものとなりました。この講義では、身近な例をあげながら、スライドや動画を多用して、セキュリティの実態を紹介します。
	高木 亜有子	『PCで楽しむ動画の仕組み』	ニコニコ動画やyoutube等、インターネット上では様々な形で動画を楽しむことができます。動画はどのような形式で保存されているのか、画質はどのように調整されるのか、パソコン上で表示されるデジタル画像の仕組みについて紹介します。
		『ゲームはどうやって作られているのか？』	みなさんが楽しんでいるゲームはどのように作られているのでしょうか？ ゲームを作る現場ではどういう人たちが働いているのか、どういったスキルが必要なのか、アイデアを出すためには日々どう過ごせばよいのかを紹介します。
	高嶋 章雄	『ものづくりにおけるデザインの視点』	携帯電話、デジカメ、パソコン、パソコンの中のソフトウェアなど、我々はモノに囲まれて暮らしています。使いやすいモノを作るために重要となる、モノとコトのデザインについて、事例を交えて紹介します。
	中村 亮太	『ヒューマンインタフェース』	コンピュータ発展の歴史はコンピュータを使いやすくするための努力の積み重ねの歴史と言っても過言ではありません。どのようなコンピュータが使いやすいのでしょうか。そもそも使いやすいとはどのようなことでしょうか。この講義では使いやすさの評価基準や過去・現在・未来のインタフェースについて紹介します。
		『インターネット：ネットワークの基礎』	今やネットワークの時代です。家でも無線LANを構築して快適な環境でコンピュータを使いたいと誰もが思います。快適にインターネットを利用したり、セキュリティ対策についても困らないようにしたりするためにはネットワークの基礎的なことを知らなければなりません。この講義ではネットワークのひと通りの基礎知識について紹介します。
	森崎 巧一	『ピクトグラムのデザイン』	ピクトグラムを取り上げ、効果的な情報伝達のためのデザインについて解説します。そして、実際にオリジナルのピクトグラムを作成し、情報デザインの基礎を体験します。
		『Processingを用いた表現方法』	メディアアート制作などでよく用いられているプログラミング言語Processingを用いて、CGの表現方法の基礎を体験します。 ※パソコン教室をご用意ください。

所 属	教員氏名	授業名	内容
総合 ビジネス 学科	小森 潔	『パーソナルイメージを デザインしよう』	人は「外見」だけで、あるいは「内面」だけで成り立っているわけではありません。「外見」と「内面」が無理なく融合したときに、「その人らしさ」をアピールすることができるのです。「自分らしさ」を外見に活かし、第一印象から好感度を持たれる社会人になる方法を学びましょう。
	黒崎 真由美	『アメリカ人、日本人、そして オーストラリア人の自然観』	自然観は国によって異なります。米日豪それぞれの特異な歴史の中に、人々の自然の見方を探ります。そして、世界的な規模での環境問題への関心が増大する中、人間と自然のより良い関係について高校生の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
	船越 洋之	『日常生活に潜む マネーのトラブル』	ふだんの生活の中に潜むマネーに関するさまざまなトラブル(例えば、キャッチセールス、振り込め詐欺、インターネットによる購入トラブル、クレジットカード盗難など)について解説します。
	飯塚 順一	『現代社会コミュニケーション ～お互いに 理解し合うために～』	学校生活において、人間関係について難しく考えてしまうこともありますよね。ちょっとした発想のヒントを得ることで気持ちが軽くなり、ストレスのない良好な人間関係を保つことも可能です。皆さんと一緒に考えてみましょう。
	伊藤 善隆	『間違いやすい敬語』	社会人として仕事をするときには、敬語をきちんと使う必要があります。よく耳にする間違った言葉遣いを紹介しながら、敬語について簡単に解説します。
	大塚 良治	『身近なテーマから 考える会計学』	いま電気料金の値上げが、家計に大きな影響を及ぼすと心配されています。そもそも、電気料金や鉄道運賃などの公共料金はどのようにして決められているのでしょうか。そして、公共料金の値上げは私たちの生活にどのような影響を及ぼすのでしょうか。私たちの生活にとっても身近な公共料金の問題を手がかりに、会計学の門を叩いてみましょう。
	田口 由美子	『アンケート調査入門』	アンケート調査とは質問項目とその質問に対する回答欄からなる調査用紙を用いた調査のことです。目的とする情報を収集したり、商品やサービスの改善点等を見付け出す方法として利用されています。本授業はアンケート調査の基本的な方法と適切な質問項目を作るためのポイントをご紹介します。
	山形 俊之	『旅程管理主任者資格 ～目指せ！ ツアーコンダクター～』	旅行に欠かせない「ツアコン」とはどのような仕事なのか、そしてどのような知識が必要なのかを紹介します。パンフレットの読み方など、観光旅行に行くときにも役に立つ豆知識としても役に立ちます。
	石崎 琢也	『株式会社のしくみ』	この授業では、身近にあるけど遠い存在、知っているようだけど意外と知らない「株式会社」について説明します。株式会社の「株式」とはいったい何なのか、それはいったいどこに行けば買えるのか、株式をもつとどんないいことがあるのか、株式会社とそれを取り巻くしくみについて包括的に説明します。
	越川 靖子	『広告マジックとその裏側』	私たちは自然と目を留めたり、気になってしまう広告があります。その広告はどのように考えて作られているのか？広告ってどういうものなのか？私たちはどうして買ってしまうのか？ということを手近なことから考えていきます。

所 属	教員氏名	授業名	内容
生活 プロ デュース 学科	岩崎 敏之	『地震に強い建物 弱い建物』	地震によって大きな被害を受ける建物の特徴を解説します。地震に弱い建物をどのように補強すればよいかという点についても解説します。
		『生活をプロデュース すること』	日常生活や学校を卒業してからの人生を面白くしていくためには、どのようにしていけばよいのかについて考えます。進路を考えていくにあたってのヒントとなることがらを提供します。
	菅沼 恵子	『ファッションの世界』	ファッションをテーマに次のようなことがらについて解説します。 ・日々新しい流行を創り出すファッション ・人が服を作り、服がまた人を作る ・人々の個性やライフスタイルに応じて、様々なブランドが誕生する ・グローバル化したファッションの世界には数多くの仕事が存在する ・プロの眼を通してファッションの世界の魅力を探る
	長谷川 文代	『クイズで学ぶ、 社会人マナー』	社会に出る前に身に付けておきたい言葉遣いや立居振舞などについて、クイズ形式で学びます。単に「正解を知る」だけでなく、ロールプレイング など行なって、その場で身に付けられるように進めていきます。 一人一人でも、グループワーク形式でも 実施可能です。
	布施 真里子	『食の文化』	知っているはずで、実は知らないことも多い私たちの食事について、文化的観点から説明します。例えば、「してはいけない箸のマナー」や「日本の食器の性別」、「正月料理の意味」など、図なども示して解説します。
		『食品を選ぶ為のミニ知識』	「美味しそう」だけではなく、食品の包装に書いてある表示を良く見ると、その食品の特徴が見えてきます。それをうまく活用して、食品を賢く選ぶための知識を解説します。
	水上 裕	『快適インテリア術入門』	インテリアの見方・つきあい方を学び、あなたらしい快適な暮らし方のヒントをつかんでください。人はインテリアを避けて生きるわけにはいきません、早めにお役立ちインテリア術を身につけ、それをきっかけに「もしかして、インテリアのこと、好きかも」と思ってもらえたら幸いです。また、普段はあまり気につけないインテリアを取り巻くお仕事についても幅広く紹介します。
	太田 奈緒	『ファッションと心理』	ファッションと心理に関して、特に色について解説します。春の色と言われるとどんな色をイメージしますか？夏の色、秋の色、冬の色は？季節の色だけでなく、ウキウキする色ってどんなのでしょうか。ファッションと色彩について考えてみましょう。
		『繊維の恋愛学？』	身の回りにたくさんある繊維製品。洋服、インテリアなど、様々なものが繊維で出来ています。繊維の種類、どうやって糸になって布になっていくのかなど、身近な話題(恋愛や人とのコミュニケーション)に例えてお話します。
	大橋 寿美子	『折り紙建築をつくらう』	模型づくりの基礎となるカッターの使い方を学び、一枚の紙からインテリアや建物が立体的に飛び出すカードをつくります。 ダイニングルームや教会などにチャレンジしてみましょう。
	小泉 綾	『生活習慣病とは？ ～自己の生活習慣について 考えよう～』	近年各メディアでも多く取り上げられる「生活習慣病」と呼ばれるさまざまな病気。どのような種類の病気があり、一体何が原因で起こる病気なのでしょう。病気とその原因を探っていく中で、自分の生活習慣について考えます。
		『心と体の密接な関係 ～「手に汗握る」の原理～』	「手に汗握る」や、「肝を冷やす」など、心の変化が身体に影響を及ぼす事を表す慣用句が数多くあります。では、実際には心と体はどのように関係しているのでしょうか。心と体の関係について学びます。
	吉川 光子	『キッチンのサイエンス』	料理をつくと「失敗」があったり「成効」があるのはなぜなのか、身近な例で説明します。高校までに学んだ化学・生物・物理の知識が生きてくることもわかります。また、料理が作れるとカッコいいと思われている一方で、近年、家庭で調理をしなくなっている傾向について考えます。
	佐藤 知条	『「子ども」を知る 』	子どもたちは、自分を取り巻くさまざまな文化(家庭、地域、学校、メディア…) から、どのような影響を受けて成長しているのか、具体的な例を交えながら紹介します。教師はもちろん、将来子どもと関わる仕事に就きたいと考えている生徒に、子どもについて考えることの面白さを伝えます。
	沖潮満里子	『意外と身近な心理学』	心理学と聞くとどのようなことを思い浮かべるでしょうか？心理学は私たちの日常生活と密接に関わっていて、こころや気持ちだけではなく、みることやきくことにも深く関わっています。私たちの身近にはどのように心理学が関係しているのかを考えていきましょう。

所 属	教員氏名	授業名	内容
保 育 学 科	野口 周一	『あなたは“エミール”をご存知ですか？』	『エミール』の著者はルソーといい、フランス革命前に活躍した人です。彼の『社会契約論』はお聞きになったことがあると思います。『エミール』は今日では「子どもの発見の書」といわれ、本書により近代の子ども論、教育論の扉が大きく開かれることになります。本講義はその意義を解説いたします。
	寛吉 明子	『保育者 (幼稚園教諭・保育士) の仕事』	現代社会の中で、保育者の果たす役割とは何かを考えます。 また、高校時代には是非とも養っておくべき良いことは何か、つまり「保育者になるための素地」についてお伝えします。(授業時間・対象人数に合わせ、授業内容・方法をアレンジします。)
	鈴木 弘充	『発達に遅れや障害のある 子どもについて』	発達に遅れや障害のある子どもについて、基礎知識を解説します。
	田中 利則	『私の人生と社会福祉』	社会福祉の領域の活動を自分の仕事や生きがいにしてきた背景や要因について、さまざまなエピソードを交え、伝えます。
	岡本 依子	『できる？できない？ おしゃべり前の赤ちゃんとの コミュニケーション』	言語未習得の乳児は、大人とどのようにコミュニケーションしているのでしょうか？ 言語を中心に成り立っているおとな同士のやりとりとは大きく異なる乳児とのやりとりを紹介します。
	高木 友子	『子どものことば』	幼児期初期の子どものことばの発達の特徴を解説します。
	照井 裕子	『赤ちゃんの世界と 大人の世界』	赤ちゃんや子どもは大人とは異なる感覚をもって世界をみているようです。 赤ちゃんならではの感覚を紹介しながら、赤ちゃんのみている世界を想像し、 赤ちゃんとのかかわり方を一緒に考えてみましょう。

- ◆ 生徒さんに来学いただき、本学で実施することも可能です。
- ◆ 希望のテーマや要望、質問など、お気軽にお問合せください。
- ◆ 本学の授業日との関係で、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

＊ ＊ ＊ お問い合わせ先 ＊ ＊ ＊
 〒243-8501 厚木市温水428
 湘北短期大学
 リベラルアーツセンター
 北野 俊之、近藤 梨世
 TELL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

平成24年度 実施報告 & 感想 (一部抜粋)

6月25日 舞岡高等学校 2年生 19名

『生活をプロデュースすること』 (担当教員: 岩崎 敏之)

- ◆ 普段考えない所から考えていって、自分の将来につながった。
- ◆ 進路の授業で出てくる言葉を、違った角度で見ることができた。そのように考えていくと進路とは面白いものであると分かった。自分の将来について考えるのも楽しくなってきた。
- ◆ 人によって答えが違出し、何通りもの考えがあるということを学んだ。
- ◆ 普段、気にせず送っている生活でも、考え方次第でもっと楽しくなれるんだなと思った。キャリアと運命について考えていて楽しかったのも、もっとキャリアを積み、楽しく生活して夢も叶えていきたいと思った。
- ◆ 今、自分の将来は決まっていないが、興味のあるものはとことん突き詰めて、できることはどんどんやろうと思った。普段考えていないことを考えてみるととても深く、面白かった。

11月8日 伊志田高等学校 1・2年生 34名

『子どもにとって絵本とはー絵本のおもしろさを知るー』

(担当教員: 實吉 明子)

- ◆ とても楽しく授業を受けることができた。90分は長いと思ったけどあっという間だった。
- ◆ 絵本には様々な工夫がほどこされていて子どもだけではなく大人でも、小さな赤ちゃんでも楽しめるということが分かった。
- ◆ 実際に絵本を見たり、言葉遊びをすることで、幼い頃の記憶がよみがえり、新たな発見ができた。
- ◆ 絵本を読むときの声でも相手の心を動かせることを学んだ。小さい子の前でどんな風に読んだらいいなどのアドバイスもいただけたので良かった。
- ◆ 絵本に対する考え方が少し変わった。大人でも楽しめて、心が暖かくなる絵本や、子どもと一緒に楽しみながら読める絵本がいいなと感じた。子どもたちが目を輝かせながら色々なことを感じ、心豊かに育つためにも必要なものなんだと思った。
- ◆ 今日話を聞いてみて、もっと保育関係に興味が沸いてきた。

12月17日 厚木西高等学校 2年生 28名

『食の文化』（担当教員：布施 眞里子）

- ◆ “食べること”を“楽しむこと”が重要ということがとてもよく分かった。布施先生も楽しそうに話していて、私も食に対して今までよりもっと楽しいと感じたし、興味が出た。
- ◆ お箸の持ち方や食事での基本的なマナーを学ぶことができ、とてもためになった。
- ◆ 食の文化について、知らないことが多かった分学んだことも多かった。これから生きていく上で最低限のことが学べた気がする。
- ◆ 知らないうちにマナーを守れていない部分があったので、今日知れて良かった。
- ◆ 食はその国の様々な文化があり、その文化を楽しみながら食べることができるんだなということが分かった。
- ◆ 食事の仕方が国によって違ったり、その国の文化に対応した箸の種類があったりして、興味深い内容がたくさんあった。
- ◆ 家で手伝いをするとき、盛り付け方など今日学んだことを活かそうと思った。

12月17日 厚木西高等学校 2年生 23名

『保育者（幼稚園教諭・保育士）の仕事』（担当教員：實吉 明子）

- ◆ すごく貴重なお話が聞けてとても楽しく、あっという間の90分間だった。
- ◆ 今日の講話を聞いて、改めて保育士や幼稚園の先生になりたいという気持ちが強くなった。
- ◆ 手遊びがすごく懐かしかった。幼稚園の歴史や保育士の名前の歴史、子どものお世話のときの注意など、すごくためになる話ばかりだった。
- ◆ これから先の進路を深く考えさせられる内容も多く、とても参考になった。今回の話をしっかり考え、これから先の進路につなげていきたい。
- ◆ 保育者の仕事は、ただ園児と触れ合うのではなく、人とのコミュニケーションや自分の健康など、気にかける所がたくさんある、やりがいのある仕事なんだと思った。
- ◆ 保育にも今やっている数学、英語などの勉強が大切ということを学んだ。日々の勉強も頑張ろうと思った。